

今年度後半活動 支部独自行事の計画進む



第 685 号

発行所

天理教静岡教務支庁
〒425-0013
焼津市岡当目1番地

TEL (054) 626-1333
FAX (054) 628-4615
Email: skyou@live.jp



教区では年祭のこの年、年祭活動で培った横の繋がりを活かし、各支部での動きの活性化を目指している。

それに伴い、期間前半は「全支部おちばがえり」を実施し、後半の活動は支部独自の活動が企画され、打ち出されている。

「全支部おちばがえり」で培われた地域の輪をさらに継続しつつ、かつ広がっていくよう、これを契機として益々の支部活動の充実を期したい。



支部 会場

日時
内容

東伊豆支部 下田分教会
12月6日10時30分

- ・十二下り総立ちてをどり
- ・本年の活動スライドショー
- ・懇親会

伊豆支部 北豆分教会
11月23日10時30分

- ・おつとめ総会(十二下り総立ち)
- ・支部紹介スライドショー
- ・余興、ビンゴ大会

駿豆支部 佐野原大教会
10月4日13時

- ・おつとめ総会(十二下り総立ち)
- ・各会活動報告

富士支部 富士分教会
11月29日9時30分

- ・富士支部ようぶくの集い
- ・座りづとめとよろづよ八首
- ・講話

東駿支部 興津分教会
11月29日10時

- ・座りづとめと前半下り
- ・感話(2〜3名)

中駿東支部 静岡大教会
11月3日13時

- ・ようぶくの集い
- ・災害復興祈願のお願いづとめ
- ・災害隊の活動紹介
- ・復興支援バザー

中駿西支部 教務支庁
11月29日10時

- ・おつとめ総会

西駿支部 教務支庁
10月4日10時

- ・西駿支部総会
- ・座りづとめとよろづよ八首
- ・講話とふりかえり

中遠支部 山名大教会
立教190年1月30日

- ・おつとめ総会
- ・講話・バザー

西遠支部 東瀬名分教会
11月28日10時

- ・おつとめ
- ・災害救援活動について講演
- ・災害隊本部主事の講師
- ・炊き出し実演

北遠支部 鹿玉分教会
11月28日9時30分

- ・講話

みちのだい育み塾

8月29日、教区婦人会（鈴木佳苗主任）は、天理教校本科講師、伊橋幸江氏を迎え、「みちのだい育み塾」を開催。対象は、子育て中の母親とその同年代の人。この行事は、教えを身につけ、教えに基づく考え方や判断ができるよう、そして親神様のご守護と教祖の親心を人に伝えることができるよう成人することを目指している。

対象者110名 参加総数 153名



午前10時、鈴木佳苗 教区婦人会主任よりあいさつ。続いて「心の花を咲かせよう」をテーマに伊橋氏による講演が行なわれた。

伊橋氏は、ご自身の著書『信心素描—おやさまに導かれた女性』の中から、教祖のお傍近くに仕えた人々が残した様々な逸話を紹介した。

その中で教祖はいつも逆境の中「いそいそ、楽しく、明るく」というお姿であられたとし、そこから日々の生活の

それぞれグループごとテーマに沿って話し合いが行なわれた。

参加者は講話を改めて振り返りつつ、成人させていたかどうかという思いを新たにしました。

グループトーク終了後は、女子青年より、11月1日におちばで行われる「第31回女子青年大会」への参加呼び掛けが行なわれた。

最後に、鈴木加奈子常任委員による閉講あいさつが行なわれ、解散した。

講演の終わりに伊橋氏のギター演奏に合わせ、テーマ「心の花を咲かせよう」を皆で歌った。

休憩後、グループトークの班分けが行われ、続いて伊橋氏の講話をもとに、



参加者からは、「先生のお話の中で、自分が御用など何かをするとき、教祖のようにいそいそ、楽しくしているのか、とても反省しました。教祖のような、そんな自分になりたい」「御守りは肌身放たず、大切につけよう」というお話が印象に残りました。子供が生まれて、まだお守りを戴いていないので、是非、今度お守りを戴きにおちばがえりしたい」などの感想が寄せられた。

第2回静岡教区福祉大会

教区福祉部は8月30日、「社会貢献 道の仲間のつどい」をテーマに、第2回「静岡教区福祉大会」を開催。

昨年、初めて行われた福祉大会の好評により、参加者からの開催希望が多く今回の開催となった。

参加者は保護司、教誨師、民生児童委員、こども食堂、里親等、59名。



当日は曇り空の下、

13時から教務支庁神殿にて開会。太田文慶福祉部長の挨拶に続き、永井磨教区長代理が祝辞を述べた。

記念講演では、美張分教会長・杉江健二氏を迎え、「140年祭後の今、これからの我が教会・我が身の『生かしの道』を求めて」を演題に講演した。

杉江氏は、自身の生い立ちを振り返り、「子どもの時、親が始めた里親には反対していたが、我が子の出直



杉江健二先生

しをきつかけに2008年から里親を引き受けることになった」と話し、苦勞する子どもたちを生かす道を模索し続けてきたという。

しかし、不登校や引きこもりの子どもを預かって世話をしたり、相談にのっていた時、高校生の長男が不登校になったという。相談を受けた親御さんへのアドバイスである「これはやってはいけない」ということを我が子にしてしまい、「自分を責めて追い込まれて

いた時期もあった」と振り返る。

そんな時、上級の会長が「それは大変やったなあ」と涙をこぼしてくれた。

杉江氏は「この時に自分の苦しみをわかってくれて涙を流してくれる人がいるだけでたすけられる」と、心が



の不幸な環境のない世の中に変わっていくことを目指して活動を進めていくことが大切だと締めくくられた。

その後、立場を同じくする分科会場で話し合いを行い、鈴木顕太郎三連盟委員長の挨拶で閉会し解散となった。

今後の活動につながるネットワークを築く機会となり、これからの活動の起爆剤となればと願っている。



中遠支部ひのきしん



草刈りを行うこととなった。

学校関係者からは、「斜面で危険な作業なので、とても助かっています。有難い限りです」と喜ばれている。

中山信行前組長は、

「大変暑い中での作業でしたが、ひのきしん

のみならず、人だすけにも通じるとしています。

出来る限り続けていきたいと思っています。」と述べた。

で行った。

同校は、以前から、「全教一斉ひのきしんデー」の会場として草刈りを行ってきた。

その中、4年ほど前、草刈り機を使用できる保護者の方が少なく苦慮しているとの相談を受け、学校が夏休み期間である、8月中旬に



道の子学習会を開催



る田中委員長自ら講師となつて進められた。

最初に参加者同士、

英語での自己紹介。続

いて講師がギターを演

奏しながら英語の歌で

有名な『スタンドバイ

ミー』『レットイット

ビー』を熱唱。続く

『効果的な英語の学習

法』と題したカリキュ

ラムでは、講師自身が

英語を学習し始めた時

は不得意科目だったが、

反復する学習法を身に

つけたことによつて成

道の子が地域ごとに集い、

学ぶ楽しさを味わつて

もらいたいとの思いか

ら、ここ数年、教区を

会場として何度も計画

されたが、思うように

対象者が集まらなかつ

たことから、地区開催

によつて実現に至つた。

今回は英語教員であ



る田中委員長自ら講師となつて進められた。

最初に参加者同士、

英語での自己紹介。続

いて講師がギターを演

奏しながら英語の歌で

有名な『スタンドバイ

ミー』『レットイット

ビー』を熱唱。続く

『効果的な英語の学習

法』と題したカリキュ

ラムでは、講師自身が

英語を学習し始めた時

は不得意科目だったが、

反復する学習法を身に

つけたことによつて成

道の子が地域ごとに集い、

学ぶ楽しさを味わつて

もらいたいとの思いか

ら、ここ数年、教区を

会場として何度も計画

されたが、思うように

対象者が集まらなかつ

たことから、地区開催

によつて実現に至つた。

今回は英語教員であ



道友社新刊書紹介

すきっと vol.43

特集 Integrity

——誠実に生きる

「すきっとした気分が暮らすために」をコンセプトに、さまざまな分野のトップランナーの生き方・考え方を紹介する雑誌『すきっと』。

A4判／オールカラー／

112ページ 定価880円

2026年9月1日発行

常盤貴子 俳優
出会った人たちの
笑顔が見たいから...

三澤彩奈 ワイン醸造家
「山梨のために戦いたい」
故郷への思いが開いた世界への扉



インタビュー 角居勝彦 元JRA調教師
武豊 JRA騎手
悲願「凱旋門賞」制覇へ
進化続ける稀代の勝負師

木下大門 相撲浮世絵師
失われた伝統を未来へつなぐ
相撲浮世絵師が描く、伝説の一戦



特集 Integrity
誠実に生きる

skitto
vol.43

すきっとした気分が暮らすために